

みんなの
ための
校長会に



第217号

発行者
茨城県学校長会
会長 長澤 勤
事務局
〒311-1125
水戸市大場町933-1
教育プラザいばらき内
☎ 029-269-1300
FAX 029-269-1304

特集

各部・各委員会の構想



目 次

○ 表紙写真に寄せて……………	1
○ 特集「各部・各委員会の構想」……………	2
○ 特別寄稿「よりよい人間関係を築く態度を育てる」…	3
○ 課題「信念をもって」…	5
○ 市町村教育委員会と校長会…	6
○ 提言二題…	7
○ 経営研究「創意と活力に満ちた学校経営」…	8
○ 大会に参加して…	10
○ 梅のかおり…	12
○ ひばり…	14
○ 読んでみませんか…	15
○ 支部だより…	16

伝統芸能「神田囃子」で頑張りのきく底力を受け継ぐ

坂東市立神大実小学校

平将門由来・東京神田のルーツの地にある本校では、日本を背負って立つようななたましく且つ温かい心をもつた児童の育成を目指し、神田囃子を生かした体験学習を進めています。

今年は全校児童が舞の曲「仁羽」を体験するほか、十八名の児童がいろいろな場面で代表して発表します。地域の伝統の底力が学校の力となつていきます。

小学校部会



経営ビジョンを明確にして、
学校からの教育改革を！

部会長 砂川洋一
(水戸・五軒小)

小学校部会では、創意と活力に満ちた学校経営を推進し、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた児童をはぐくむためにがんばっています。

そのためには、まず、学校経営ビジョンをわかりやすく示すことです。二十年後の未来を想定し、県内五百六十五校の小学校長が、互いに夢を語りながら、県学校長会として学校経営ビジョンの方向性を明示したいと考えます。これにより、児童のもてる能力と可能性を大きく伸ばし、日本が先進国として持続可能な発展をする原動力となる「生きる力」をはぐくみたいのです。

六月十七・十八日に、関ブロ小茨城大会が開かれました。「おもてなしの心を」「茨城から新しい教育の風を関東へ」の合い

各部・各委員会の構想

確かな教育の成果を求めて

本年六月十七日・十八日

②全連小北海道大会、札幌

九月三十日・十月一日

③茨城県小学校長研究協議会

十二月九日県民文化センター

三 学校からの教育改革を促す

組織運営の活性化
四 児童生徒の夢の実現に向けた教職員の資質能力の向上

五 児童生徒や教職員の意欲を高める教育諸条件の整備

六 関係機関団体との連携強化

中学校部会



学校からの教育改革

部会長 長澤勤
(水戸・第三中)

急速な社会環境の変化による人間関係の希薄化、社会性や規範意識の欠如、基本的な生活習慣の乱れ、加えて学校教育では

夫という観点から多くの会員と向き合う時間の確保のための工話話し合いながら学校長会の目標に向かって行動していきたいと考へております。「衆思を集めて群力を宣ぶ」【弘道館記より】

一方、教育基本法、教育三法が改正され、教育をめぐる状況は急激に変化している。

新学習指導要領が全面実施される平成二十四年度に向けた対応も急務となっている。

新しい時代の教育に向け重要な局面を迎えておりが、中学校長は、どのような社会状況にあ

らうと義務教育の最終の責任を負う立場にある。

豊かな心と健やかな体をはぐくみ、確かな学力の向上に向けて組織体としての学校力向上にアクセルを踏み込んでいかなければならぬ。

中学校部会では、この「生きる力」をはぐくむ教育をより力強く推進するとともに、学校を

教職員と共に内側からより良く

・全日中高知大会
六月十日・十一日

○県中学校長研究協議会
十二月二日

・関地区中柄木大会
十月二十一日・二十二日

①関ブロ小茨城大会、水戸

べきか、ビジョンを明確にして積極的に教育改革に取り組み、教職員の指導力、マネジメント能力の向上に資する活動を展開していくれば、学校は変わる。
現状維持はマイナスである。
少しでも前進させ、教育の楽しさを、そして子どもの成長の喜びを教職員と共有していきたい。
今年度、中学校部会はねらいを達成するために、次の事項を実施する。踏襲にこだわらず質の高い教育実践に結び付く事業としていたい。

特別寄稿



よりよい人間関係を築く態度を育てる

教育庁義務教育課

副参事 小林 仁

人口減少や少子高齢化等社会構造が急激に変化する中、子どもも手当や高校授業料無償化、放課後子ども教室、幼稚園の預かり保育など、子育てを社会全体で支援する様々な施策が実施されています。

一方、子どもたちに目を向けると、暴力行為・いじめ・不登校等、多様化・深刻化する生徒指導上の諸問題に直面しています。これらの諸問題には、一人の個別の事情や社会背景等が複雑に絡み合っているところですが、他者への思いやりの心や、相手の立場に立つて物事を考える能力や態度の希薄さ、倫理観や規範意識の欠如など、人と適切にかかわる力が身に付いていないということが、共通した要因として考えられるものだと思います。このことは、問題行動等ばかりに限ったことではなく、今日の多くの児童生徒に見られる傾向として、学力の向上や体力の向上といった場面において指摘されているところでもあります。

私たちの日常生活はすべて他人者とのかかわりによつて成り立つており、円滑な社会生活を営むためには、適切なコミュニケーション能力や自己表現能力などをもとに、お互いが価値の共有化を図つたり、互いの存在を理解し尊重し合い、よりよい人間関係を築こうとする姿勢が必要になってしまいます。日常生活において、他人との意見の相違が生じたり、トラブルが生じるのは当然のことですが、生きるうえで大切なことは、それを必要に応じて回避したり、修復・改善したりできる力をしっかりと備えることであると考えます。

しかし、今日の社会環境は、利己主義が潮流となり、人間關係が希薄化・閉塞化またメディアを媒体として間接化する状況にあるなど、他者とのかかわりが表面的なものになりやすい状況になつていることは否めません。このように、人間関係をめぐる問題は、社会全体の環境に起因するものですが、だからこそ、集団の中で学ぶという学校

教育の特質を生かし、児童生徒に他者とかかわる力を身に付けてさせるための意識的な取組みがこれまで以上に求められるという状況になつてきているのだと思われます。

新学習指導要領の特別活動の目標では、「よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる」という

ように、「人間関係」という文言が加えられました。教師の適切な指導の下に多様な集団活動を展開し、人間的なふれあいを大切にするとともに、思いやりをもち、協力し合うなど人間関係を調整しながら、共通の目標を追及するような活動を一層重視する必要があります。そのためには、学級活動や児童会・生徒会活動、学校行事などにおける経験や体験を通して「よりよい人間関係」について実感できるようになります。

今、社会は、経済的にも閉塞状況です。人ととのつながりは薄くなり、自分の未来への目標を見失いがちです。

こんな時代だからこそ子どもたちは夢（目標）に向かつて目をキラキラ輝かせている存在であつてほしいと願います。そして、我々教職員はその子どもたちの夢が叶うよう導く案内人であり続けたいと考えます。そのためには今の学校を取り巻く教育環境（もの・ひと・こと）をひとつでも多くより良い方向に改善する必要があります。そのためには、学級活動や児童会・生徒会活動、学校行事などにおける経験や体験を通して「よりよい人間関係」について実感できるようになります。

三 活動内容

1 県内全小中学校長による調査を実施し、未来を拓くたくましい児童生徒を育成するための教育環境についての課題と要望を把握する。

2 教育充実のための人的措置について

3 教育の充実と活性化のための施設や教職員人事について

4 退職者に対する待遇改善について

5 その他喫緊の教育課題について

6 本市町村への要望を含む

行政財政



「子どもはいつも夢追い人・大人はいつも夢先案内人」であるための教育環境整備を！

委員長 佐藤和彦

二 活動目標

- 1 行財政に関する諸課題について調査と研究を行う。
- 2 教育行政に関する要望書を作成し、課題解決のための要望活動を推進する。

- 3 「今学校ができる最大限の努力」の実践とその状況の発信を通して県教委の現場への理解を深め質の高い教育環境が整備されることに努める。

二 組織

委員長	佐藤和彦	(水内原中)	小委員	飯島英一	(行小貫小)
副委員長	前嶋茂男	(水・寿小)	同 同	山崎淳一	(か・上佐谷小)
幹事	中島 章	(稲寺・櫻木小)		森田 肇	(猿・霞東小)
同 同	三次 智	(ひ・津田小)			
小委員	佐藤一利	(日・富田小)			
岩間敦子	富山郷幸	(那市・瓜連小)			
(太)	(瑞竜小)				

本委員会は、本県学校教育の現状や直面している課題等を悉く調査を通して把握し、県学校長会がその解決に向けた提言活動等を行うための資料提供をするとともに、調査結果を各学校にフィードバックして、教育推進の一助としてもらうことを主な活動目的としています。

本年度は、昨年度に引き続いだ「学校評価」の取組み状況を把握し、その活用や課題等についてまとめます。また、冊子「特色ある教育活動の調査報告書」を作成・配付します。

副委員長	同	幹事	井龍
小委員	同	皆川	深谷 恵
常井	同	水石川小	喜平江(選小)
窪木	同	辰夫	忠雄(行選小)
錦織	同	一志	邦北根小
稻生	同	雅啓	太賀田小
耕一	同	俊雄	庵波崎東小
鈴木ゆみ子	同	一志	桜南小
猪(長田小)	同	一志	太賀田小
・学校評価に関する取組み	二	活動内容及び計画	二
・状況や課題等の調査及び分析			
・アンケートによる悉皆調査の実施(郡市、プロソック、全体の順で集計)			
・調査結果の分析と考察			
・県教委への要望書作成(行			

委員長	小林 靖(木梅の原)
副委員長	瀧ヶ崎 正彦(木下大野)
校正委員	谷津 秀城(笠稻田小)
小委員	飯島 尚之(木堀原小)
幹事	安原 優(東大賀小)
同	桐原 峰男(水妻里小)
同	栗田 將夫(蒼鶻山小)
同	大友 光男(ひ舟山小)
同	根本 弘道(日木本小)
同	吉久保京子(斐翠里小)
糟谷	糟谷 正也(鹿中野東小)
山口	山口 俊夫(行三和小)
菅谷	菅谷 弘史(主都和尙小)
齋藤	齋藤 浩一(石園部中)
中野	中野美紀思(結城西小)
同	富山 陽子(坂神大東小)
活動目標	二 学校長会の活動方針・事

二二六号(六月三日発行)
「三十二年度の活動目標報告」「新役員及び新入会員の紹介」

二三七号(七月十六日発行)
「各部・各委員会の構想」「創意と活力に満ちた学校経営」

二二八号(十一月十九日発行)
「特色ある学校経営」「創意を生かした特色ある教育課程」

二二九号(二月十八日発行)
「危機管理体制の整備と学校安全の確保」「新年度にそなえて」

本年度は、日々の学校管理・運営等において、的確かつ迅速な対応の拠り所として活用いただいています「学校運営必携」の九訂版発刊が主な活動です。

そこで、平成十九年度発刊の八訂版の内容を検討して加除訂正するとともに、「学校長必携二十七集・二十八集」や本年度の調査結果を基にして、学校の管理・運営上の諸問題解決に役立つ新たな資料等を加えて、分かりやすく、活用していただけます「学校運営必携」を作つて、

「評価」の取組状況

本委員会は、学校長会の会員相互の情報共有化を図り、最新の情報提供ができるよう、会報作成に努力いたします。

業等の周知徹底及び情報提供
供
2 会員相互の連帯感の高揚
啓発及び情報交換
3 その他必要に応じた広報

法 制



「学校運営必携」九訂版の 発刊に向けて

委員長 坏 哲 男

二十八集の加除訂正と学校管理・運営上の諸問題の調査・解明

廣報



会員に

委員長 小林 晴

くりと活動内容及び編集計画、調査計画の検討

2 財政委員会と合同
「特色ある教育活動」の

・調査用紙等の配付
・調査用紙等の集約と報告
以上の諸活動推進のため、二回の委員会と四回の小委員会を開催したり、電子データ等を活用した意見や情報交換を行つたりして、十分な成果が得られます。よう努めてまいります。

課題



「信念をもつて」

茨城県学校長会副会長

蛭田 隆久
(高萩・高萩中)

ここ数年、教育界で気になることがある。あらゆる研修会で「学力向上」が言われ続けている。裏を返せば、それだけ学力の定着を図れない、我々教員が信用を失っているということなのだろうか。

来年度から小学校で本格実施される指導要領も、改訂の大きなねらいは、もっと教える内容を増やして、現在の学力をさら

に向上させようとしている。このことには、大きな異議もない。

だが、課題となるのは、全国学力学習状況調査や本県独自の学力診断のためのテストの取り上げられ方である。

学力は、誰が考えても低いよ

りは高い方がよい。だからといって低い学力の子や市町村・学校を悪者にするかの考え方、さらには少しでも低い平均点の学

校を努力が足りないと決めつけられる考え方には賛成できないし、大きな疑問が残る。

どのようなテストでも、入試の場合等を除き、今現在のその子の理解しているところとそ

てないところを明らかにし、理解が足りないところをさらに向上させるために実施している。ところが、結果だけを考えるだけでは、間違った内容の割合だけを表にして考える。百点満点で、三十点というと、七割の内

人は、間違った内容が「理解されていない」とい

うことのみクローズアップされ

て、理解されていない「内容」にまで考えが及ぶ人は少ない。

同じように、八十点の子と三十

点の子のどちら方も、できた割

合とか、席次だけが表に出くわす。

教師は何とかして三十点の子を個別に指導し、引き上げを図

る。A教諭が指導すると三十点の子が、B教諭に指導を受ける

と、五十点ということはある。

これは、指導力の差であり、A教諭は、B教諭に少しでも近づく努力が必要である。この様な

指導法による定着の違いを取り上げるのは、当然ながら研修と

して大切にしていかねばならない。教師として、子どもを何と

ある。教師としての自覚を問われる。子どもは、「わかつて」「できる」経験をすれば、やる気もわく。

特に、小・中学校での教育欲付けが大切である。将来の基礎となる学力の向上は必要であり、教師は、そのことに、今まで最大限の努力を払わなくてはならない。学ぶことの大切さ、今できていなくても遊び続けることの大切さを子どもに理解させることができさらに大切である。

今の時代、スクールマニフェスト類の、目に見える形のものが、必要以上に騒ぎ立てられる事が多い。勿論、学校としてのよい結果を引き出していくことは必要だが、児童生徒一人一人と教師のかかわり具合の深さが一番大切だと思っている。

目に見えて比較しやすいものにこだわりたいのも分かるが、我々教師一人一人の大切にしていきたいことは、今は、たとえ

・専門委員会事業

・行財政 法制

・調査研究 広報

・ウェブページ運営

・業務の軽量化

・教員の業務の軽量化

・に対する学校長会の支援の実施が図れるよう努めています。

・第一回委員会

・第二回委員会

・第三回委員会

・第四回委員会

・活動の反省と次年度の計画について

業務軽量化



有用感のある「業務の軽量化」への取組みを

委員長 関 晃

本委員会は、県教育委員会の「小中学校教員の業務の軽量化」を受けて、県校長会としての推進方策等について検討し、有用感のある「業務の軽量化」の実施が図れるよう努めています。

1 「教員の業務の軽量化」に対する学校長会の支援の実施が図れるよう努めています。
2 「教員の業務の軽量化」に対する学校長会の支援の実施が図れるよう努めています。
3 「教員の業務の軽量化」に対する学校長会の支援の実施が図れるよう努めています。
4 「教員の業務の軽量化」に対する学校長会の支援の実施が図れるよう努めています。

一 組織

委員長	関 晃	(永 輝小)
副委員長	醍醐 孝昭	(行 輝小)
幹事	石井 誠二	(水 輝小)
委員	綿引 和義	(天 小留小)
	小林 正治	(高 君田中)
	萩原 光男	(鉢 旭中)
	前野 元文	(平 夏小)
	人見 実俊	(筑 下館小)
	深谷 信之	(筑 下館小)
	塚田 敦夫	(輔 繩中)
	同 同 同 同 同 同 同 同 同	

二 活動内容

業務の軽量化にかかる左記の事項について検討を行う。

- ①県小・中学校長研究協議会の在り方
- ②小・中学校部会及び専門委員会事業の在り方

第三回委員会

・県校長会の事業の見直しについての検討

第四回委員会

・「在校時間報告書」についての検討

・教員の業務の軽量化に対する学校長会の支援について

・活動の反省と次年度の計画について

古河市
教育委員会との連携について
吉河・吉河第一小
倉持貢

古河市教育総合プランの理念は「共に学び、明日を拓く」人づくり、「これから古河を支える人づくりを目指して」である。

平成二十二年度、古河市は財源を確保して市民サービスのグレードアップ実現に力を入れている。教育委員会は学校充実を目指し、新規事業として新たに「学校づくりチャレンジ事業」を創設した。

事業の趣旨は、古河市の小中学校の活性化を図るため、「考える力」を基盤として、自ら考え、判断し、表現できる児童生徒の育成を目指すことにある。具体的には、児童生徒の学力の向上に積極的に取り組む学校、又は特色を生かした創意あふれる学校運営を通して児童生徒の学力の向上を目指す学校に対し、古河市学校づくりチャレンジ交付金を交付し、その活動を

古河市教育総合プランの理念は「共に学び、明日を拓く」人づくり、「これから古河を支える人づくりを目指して」である。

古河市教育総合プランの理念は「共に学び、明日を拓く」人づくり、「これから古河を支える人づくりを目指して」である。

(一)児童生徒の学力の向上に積極的に寄与すると認められる事業

(二)特色を生かし、創意あふれた取組みにより、児童生徒の学力の向上が図られると認められる事業

(三)その他、体験及びその後の学習指導等を通して、児童生徒の学力の向上が図られると認められる事業

本事業の趣旨を理解し、古河市小中三十二校は、事業実施に向けて、積極的に事業実施計画書、補助金等交付申請書及び経費内訳書を教育委員会に提出したところである。

学校の取組みとして、小学校において外部講師による学習相談と補充指導、中学校においては学力向上を目指した夏季セミナーの実施などである。各学校とも現状や実情に合わせた特色を生かした意欲的な事業を実践しようとしている。

その他、今年度の学校教育の充実拡大を目指し、小学校における対象事業は、

古河市教育委員会との連携を奨励するものである。

古河市教育委員会との連携を行つて、

古河市教育委員会との連携を行つて、

古河市教育委員会との連携を行つて、

古河市教育委員会との連携を行つて、

市町村教育委員会と学校長会

化・実践化に取り組んでいる。

村教育委員会との関係も学校現場の課題、行政が求める教育の継続指導項目として、実践、

実践に対して、一体的に取り組める行動連携が図られている。

以下、教育委員会との連携、

実践について紹介したい。

一 教育委員会と校長会との連携について紹介したい。

二 教育委員会と校長会との連携について紹介したい。

三 学校の特色を引き出す「マスクール推進事業」の充実を図る。

古河市
教育委員会との連携について
吉河・吉河第一小
倉持貢

吉河・吉河第一小
倉持貢

古河市教育委員会との連携を行つて、

人から人へ



北茨城市
PTA連絡協議会会长
赤津 芳男

このような身の上ですので御依頼の提言とは程遠くも、新米保護者ゆえの学校の懐かしい思い出を書きつづりたいと思います。

学校とは不思議なもので、子どもがお世話になる年齢に達し、また、再び保護者（PTA）として学校とのかかわりが出て参りました。久しぶりに訪れてみると、生徒時代に通った時の学校とは風貌（校舎）は一変していました。そして、当時の面影や痕跡を探している自分がそこにありました。しかしそい出ることは簡単ではありませんでした。唯一、彷彿させられたものと言えば、校長室に飾られた歴代校長先生のお写真だったかも知れません。そして、たどること、在校時の見覚えのあるお顔とお名前

本年度、北茨城市PTA連絡協議会の会長を務めることになります。また赤津芳男と申します。PTA関係に携わるのも今年で二年目と日も浅く経験豊富な諸先輩を前に甚だ僭越とは存じますが、ご縁にて寄稿させていた
だく失礼を御容赦ください。

前を見つけて、視線は止まりました。するとどうでしょう、当時の恩師の姿や響いた言葉、そして学友の顔や苦楽を共にした事柄等々が時を越えて次々と脳裏に蘇ってきたではありませんか。

その当時の恩師たちや生徒の姿は、今在校内に見出す事はできなくとも、今を生きる私の心中に、何も変わらず思い出として人々の姿が宿っています。しかし、学校で習い身に付いた文字から得た知識と勉強一覧えた事柄の詳細は、いつ、どんな、いざれによりだつたか?と、思い出すことも記憶もおぼろげで、まるで自然に体に磨り込まれたその様な錯覚さえ覚ってしまうのです。

この事からも、人間として生

東地区 P T A
連絡協議会会長
吉田 亨

地域と学校の連携

力向上への取組み、云々と比較されたり、揶揄されたりと校長先生の役割も成果主義の風潮に、ご苦労も絶えない事とは存じますが、個性豊かな人間力により大勢の方々を、学校へ引き付け魅了する長であらせられる事を心よりお願い申し上げ、筆を置かせて頂きたいと存じます。

どうぞ宜しく、お導きいただけますようお願い申し上げます。

地域と学校の連携



県東地区 P T A
連絡協議会会長
吉田 亮

私は、PTA関連の役員を引受けた。この間、地域と学校、保護者と学校の関係を見てきました。学校の行事、地域の行事に取り組む際に目に付いていたのは、参加する地域の方々、保護者は多数いらっしゃいますが、一緒に取り組む方々は特定されてしまっているという点です。私が役員を始めたころは、先生方も同様でしたが、多くの方が方に取り組んで頂けるよう働きかけ、地域との調整を行いました。そのおかげか、先生方とも地域の方々との交流をもつことができるようになり、今まで以上に地域と学校の関係が深まっています。

学校では、学校公開などで地域の方々にも開かれた学校を実施しているかと思いますが、公開するのみならず、地域の方々との交流、情報交換を積極的に実施し、地域からみた子どもたちの姿、学校側から地域へのお願いなど情報交換を行い連携をさらに深めて頂きたいと思います。

我々、保護者も地域の一員です。地域と学校の連携を深めていくことは、保護者との連携を深めることにも繋がっていくものだと思います。

しかし、様々な保護者が学校とかかわりをもつており、全保護者と学校が連携を保つことは困難なこともあります。

我々保護者側としても、授業参観のみならず、積極的に懇談会への参加、行事への参加、役員や各委員会の方々は仕事、家事などで忙しい日々の合間をぬつて、取り組んでいることがあります。役員に任命されたから、参加するのではなく、任命されていなくても、手伝いなどを積極的に行う姿勢が、我々保護者にも求められることです。

私が単位PTA役員在任中には保護者とお話をさせて頂いて、耳にしていたことは、担任の先生以外とのかかわりが少なく、どのような先生がいるのか、わからないといった言葉が多くありました。中学生にもなると、保護者の方々は校長先生や教頭先生

生もよくわからぬといいう言葉を耳にしました。確かに本部役員であれば、様々な先生方とかわりをもちますが、多くの保護者はなかなかかかわりをもつてこができないかもしません。

そこで、提言です。

1 校長先生、教頭先生も積極的に各クラスに顔を出してください。

授業参観など保護者の集まっている場所に顔を出して頂くことで、保護者側はどのような校長先生がいらっしゃるのか理解が深まると思っています。

2 地域の行事に積極的な参加をお願いします。

地域の行事には子どもたちも集まり、子どもたちといっしょに保護者も集まつてきます。子どもたちが普段どんな様子なのか知ることができ、さらに保護者との交流を深めることができます。

3 地域との情報交換を今まで以上に行つて頂きたいです。

現在でも様々な形で地域の方々と情報交換を行つていいかと思いますが、情報交換以外にも地域の方々に授業の手伝いをお願いするなどし、いままで以上に交流をお願いします。

最後に、乱筆、乱文となつてしまましたが、このような機会を与えて頂き、ありがとうございました。

経営研究

創意と活力に満ちた 学校経営

かかわりを創り広げ深め
豊かな心をはぐくむ学校づくり

笠間・稻田小
谷津秀城

本校は、稻田御影石で知られる稻田の縁多い地に立地し、稻田幼稚園と稻田中学校が隣接し、児童数二六四名、学級数十一、教職員数二〇名の規模である。

今年度は、児童一人一人の確かな学力・豊かな心・健やかな体のバランスのとれた生きる力を育成するため、「信頼と創造」を経営モットーに、教育効果を高める開かれた学校づくりを推進している。特に、かかわりを創り広げ深める教育活動を重視し、豊かな心を育成することを学校経営方針の柱の一つに掲げ取り組んでいる。

子どもは多様なかかわりの中で大切なことを学んでいく。また、直接的なかかわりの体験を通して、目に見えない関接的なかかわりがあることに気付かせていくことも大切である。見守り支えてくれている人がいることに気付き、やさしさや感謝の心がはぐくまれる。持ち前のよ



幼稚園児との交流活動
本校と隣接している稻田幼稚園

さを認められ褒められ、向上心を高めていく。自分にはない他人のよさに気付き、協調性がはぐくまれ、つまずきや失敗への温かい援助や励ましがあって、安心して取り組むことのできる自立心がはぐくまれていくものと考える。

そこで、本校では、幼稚園児との交流活動や異年齢集団交流活動、三世代交流活動や親子学習活動、教え合い・伝え合う学習活動など、多様なかかわりの活動を通じて、児童の成長を育む教育活動を開催している。ここでは、幼稚園児との交流活動について紹介したい。

みんなのチヨボラ活動
北茨城・富士ヶ丘小
鈴木一成

図るために、職員間の連携協力を図るために、幼・小・中合同挨拶運動の展開や職員合同研究会やスポーツレクなどを行ってきた。幼・小の交流活動を通して、事前準備の主体的な態度や園児に頼りにされる喜びや優しい気遣いなどの様子がみられ、予想以上の成果をあげている。

また、運動会などの学校行事の交流や幼稚園児のおさんぽ訪問も交流事業の一つとした。

さらに、運動会などの学校行事の交流や幼稚園児のおさんぽ訪問も交流事業の一つとした。园児も教職員も少ない本校においては、互いが極めて身近な存在である。この特性を生かして、全職員でかかわることにした。ちょっとした日々の心がけで、大きな成果が楽しめるといふことに気付かせるという試みである。ACの受け売りだが「みんなのチヨボラ活動」として活動を開始した。個々の心の涵養を大切にする意味から、学年等に強制することはしないで、個人的に声かけなどで参加を働きかけ、教職員個々と児童たちが思い思いの活動を楽しんだ。

一方、学校としての現状は、複式学級の増加に伴う教職員減



本校は、北茨城市的北部、福島県と隣接する山沿いに位置している。全校児童四十六名で教職員十一名。今年度からは複式学級が二学級に増え、特別支援学級を含めて五学級の小規模校である。

この状況から脱却するために置にいるために依頼心が強くなってしまうたりするという小規模校ならではの課題がある。この状況から脱却するためには、自ら主体性をもって取り組む姿勢を身に付けること、これまでの自分から一歩踏み出し自らの可能性に目覚めることが必要である。そのための支援を計画した。

一方、学校としての現状は、複式学級の増加に伴う教職員減

少と相まって、児童の学力の保護に配慮した変則的な指導形態など、独自の教育課程編成を工夫するために多大な労力を要している。

このような状況下、校長としては「効率化・合理化と実効性」のキーワードを教職員に投げかけ推進に努めた。

児童も教職員も少ない本校においては、互いが極めて身近な存在である。この特性を生かして、全職員でかかわることにした。ちょっとした日々の心がけで、大きな成果が楽しめるといふことに気付かせるという試みである。ACの受け売りだが「みんなのチヨボラ活動」として活動を開始した。個々の心の涵養を大切にする意味から、学年等に強制することはしないで、個人的に声かけなどで参加を働きかけ、教職員個々と児童たちが思い思いの活動を楽しんだ。

一年を振り返ると、足跡として、「チヨボラ池」の完成や栽培活動、清掃活動等々を行った。児童が発案し企画した活動に、教職員が引き出され活動するなどの主体性が見られるようになつた。

児童が発案し企画した活動に、教職員が引き出され活動するなどの主体性が見られるようになつた。今年度になると、児童が発案し企画した活動に、教職員が引き出され活動するなどの主体性が見られるようになつた。

自ら考えたことが実現する喜び、汗を流す喜び、称賛されることの喜びを体感していくことがあるとを考えている。

児童の話し合い活動の活性化からよりよい学校づくりを目指す

石岡・林小

谷仲 紀彦

本校は、石岡市の中心に位置する。西から北に紫峰筑波の山並みを仰ぎ、林の名の如く木立の多い丘陵地にある。四季折々の豊かな自然を感じることでのきる地である。全校児童一九〇名と教職員十三名、特別支援学級一学級を含む七学級の小規模校である。

一 児童の主体性を育てる

児童一人一人が、自分たちの問題は自分たちで考え方解決していく。それがよりよい学級・学校をつくることに繋がると考え取り組んでいる。児童は、学級や学校の問題などを各学級に設置してある議題ボストに入れられる。計画委員会の児童がその中から次の議題を教師と相談しながら選ぶ。この計画委員会での練り上げが特に大切である。選ばれなかつた議題についても決して粗末にすることなく、何らかの形で生かすようにしている。話し合い活動には、全員が自分の意見を話し合うカードに書いて参加する。少数意見を大切にしながらの司会も大変である。マニユアルはあるが、なかなかその通りにはいかない。発



て進めていく。班員以外に頼る人がいない環境が、班長としての自覚を身に付けさせ、リーダー性を養うことになる。もちろん担当教師が事前に班長会議をもち、その話し合いの中で十分に指導し、理解させておくようする。

このように様々な単位・組織での話し合いが相手の考え方認め、受け入れ、よりよい集団決定をする力を身に付けさせていく。このような取組みが学校を元気にしていく。

**笑顔と活力のある学校づくり
学ぶ意欲を高める指導を通して**

坂東・南中
野本 猛

助言が必要になる。話し合い活動は、大変難しい。しかし、児童の考える力や判断する力、表現する力を育てるのは大変効果的ではないかと考える。話し合いで活動が児童の主体性を育て、児童自らの提案で、始業前の「あいさつ運動」「落ち葉はき」「昇降口掃除」などのボランティア活動への実践へと発展した。

二 リーダーを育てる

縦割りによる活動には、児童会活動・クラブ活動などがある。本校では、「かがやき隊」と称している縦割り班がある。その活動にはレクリエーション的なもの、運動会に関するもの、サッカーマイモの苗植え、除草、収穫など様々なものがある。それらの活動を班長が班員と話し合つ

て進めていく。班員以外に頼る人がいない環境が、班長としての自覚を身に付けさせ、リーダー性を養うことになる。もちろん担当教師が事前に班長会議をもち、その話し合いの中で十分に指導し、理解させておくようする。

このように様々な単位・組織での話し合いが相手の考え方認め、受け入れ、よりよい集団決定をする力を身に付けさせていく。このような取組みが学校を元気にしていく。

そのような生徒の姿を求め、全職員による授業公開と研究協議を行つてている。職員間には、教科の枠を越え授業を見合つオーブンな雰囲気があり、研究協議でも「学ぶ意欲」について活発な話し合いがなされている。

今年度、南中は文部科学省の「人権教育研究指定校」となった。これまで取り組んできたことを生かし、笑顔と活力のある学校づくりにいつそう励んでいきたい。

二 夢や目標をもてる学校生活

授業の改善とともに、本校では生徒が目標をもつて生活できるよう各種の取組みをしている「生き方に学ぶ講演会」もその一つである。自分自身に向かって努力することを経験する各教科の「学力



らせたいと考えている。どの子も「できるようになりたい」の気持ちを大切にし、生徒の不足を補い、「やればできる」の実感を持たせることに取り組んでいる。生徒自身がそれを評価することも行っている。生徒会の呼びかけで実施されている朝のあいさつやボランティア、読書は一日の始まりをさわやかなものにしている。専門委員会の各種キャンペーンも盛り上がりを見せつつある。

今年度、南中は文部科学省の「人権教育研究指定校」となった。これまで取り組んできたことを生かし、笑顔と活力のある学校づくりにいつそう励んでいきたい。

一 学びを保障する授業

学校生活の大部分を占める授業を充実させることで、生き生きと楽しく学校生活を送

大会に参加して

第六十二回全連小総会に
参加して　（全連小）

水戸・千波小島田れい子

全国連合小学校長会第六十二回総会・研修会が、五月二十六日にニッショーホールを会場に開催された。本県からは、県学じめ八名の校長が、理事及び代議員として参加した。

会長あいさつでは向山行雄
前進しよう」と述べ、志とは夢、力強く掲げ力強く
希望、目標のことであり、校長
は学校づくりのビジョンを示す
こと、道筋を提示すること、教
職員と共に課題解決に努めるこ
とを話された。

また、全連小副会長を務められた都筑積前茨城県学校長会長に、全連小より、その功績を讃え感謝状が贈呈された。

議事では、全連小活動方針が承認された。方針では、校長は自らの使命を自覚し、志を高く揚げ、リーダーシップを發揮して、活力ある学校づくりに努めていかなければならぬとし、そのための一学校経営の充実二研究活動の充実三「生きる

宣言決議では、「志を高く掲げ力強く前進する校長会」として全員の総力を結集し、十一項目の実現に全力を傾注することが提案され、満場一致で採択された。宣言文では「知識基盤社会化やグローバル化が進む中、改正教育基本法に基づき、教育振興基本計画が策定され、平成二十一年四月からは学習指導要領の先行実施が始まった。校長は、学校の経営ビジョンを確立し、組織の活性化を図り、「生きる力」をはぐくむ活力ある学校づくりに努め、夢と希望をもちたくましく生きる児童の育成に全力を注ぎ、もって国民の信託に応える責務がある。校長は「新しい時代を拓き、心豊かにたくましく生きる日本人の育成をめざす小学校教育の推進」に努めなければならない」としている。

力」をはぐくむ教育課程の編成・実施・評価・改善 四教職員の資質・能力の向上 五教職員の待遇改善の五点の活動を推進していくことを確認した。

指導要領の目標に準拠した評価の着実な実施)、豊かな体験活動推進事業(三泊四日以上の日数での自然の中での集団宿泊活動の支援)、暴力行為・いじめの問題への対応、児童虐待防止等への的確な対応、「生徒指導提要」の作成、教員給与の縮減(平成二十三年一月)実施)等について講話をいただいた。

- 一 専門職としての資質・能力を備えた指導力のある教師の育成
- 一 安全で安心できる教育環境づくりの推進
- 一 人間尊重の精神に基づく人権意識をはぐくむ教育の推進
- 一 我が国の文化や伝統を尊重する教育と、社会の変化に対応する教育の推進
- 一 宣言文決議に続き、東京音楽大学教授・池辺晋一郎氏が「自然とともに、音とともに・・・」の演題で講演された。

創意と活力に満ちた学校づくり のための校長の役割（関ブロ小）

めの校長の役割（関プロ小）
日立・滑川小 今橋 道抜

川大会実行委員長の両氏とともに、創意と活力に満ちた学校づくりへの夢を力強く語っていた。続いて、水戸市長・茨城県教育委員会教育長・全小連会長の祝辞があり、いずれも校長会への貴重な意見と校長の役割に期待を寄せる心温まる励ましの言葉であった。

偶發的で自然現象かもしれないと、子どもには、何かのきっかけで変わるポイントがある話をや音は天にあるもの自然にあるものという話など、興味深く音の世界に引き込まれる内容であつた。

第二日は、十二分科会、二十六分散会で、研究協議が実施された。

第六十二回関東甲信越地区小学校長研究協議会茨城大会が、六月十七日・十八日の両日、茨城県水戸市において開催された。全国連合小学校大会主題を追究するため、茨城大会での副主題を「創意と活力に満ちた学校づくりのための校長の役割」と設定した。

関東甲信越地区一都九県から
一一〇〇名余りの参加者があ
り、二日間に渡る研究協議会が
始まつた。

一、学校評価、教育評価等、組織マネジメントを活かした学校経済の充実

子どもたちの「生きる力」を
はぐくむための校長の役割を究
明した、すばらしい研究協議会
であつた。

未来を切り拓く中学校教育

(関ブロ中)

土浦・土浦一中 佐野 光男

第六十二回関東甲信越地区中学校長研究協議会は、六月十日、十一日の二日間日光市のきぬ川ホテル三日月において「未来を切り拓く豊かな心と創造性を備えた人間を育てる中学校教育」の大会主題のもと、一都九県から八百七十余名の参加者により開催された。本県からは、長澤勤会長はじめ六十名の会員が参加した。

十日午前には理事会が開かれ、長澤勤会長と大滝茂副会長が参加された。午後からは全体会が開催された。

開会行事の後、はじめに、文部科学省初等中等教育局教育課程課の梶山正司教育課程企画室長から「当面する初等中等教育の諸課題」として、新学習指導要領実施スケジュール(概要)をもとに、実施に向けた留意点はじめ、学校評価、コミュニケーションスクールの推進等についての具体的な説明があつた。

文部科学省の説明後の全体協議会では、栃木県宇都宮市立城山中学校富田友子校長より「家庭・地域との連携を図った創意ある教育活動を開拓し、確かな学力と豊かな心をはぐくむ中学校教育の創造」と題した宇都宮地

区中学校長会研究部の取組みが提案された。その後の大会宣言文決議では宣言文案が力強く朗讀され満場一致で決議された。

決議

一人間尊重の教育を推進し、未来を切り拓く意欲や豊かな創造性の育成に努める。

一 創意ある教育課程を編成し、確かな学力、豊かな心、健やかな身体の育成に努める。

一 家庭・地域社会とより一層の連携を深め、開かれた学校づくりに努める。

一 創造性豊かで、教育に対する熱意・使命感に満ちた教職員の育成に努める。

一 義務教育費国庫負担制度及び人材確保法を堅持し、教育水準の維持向上を期する。



全日中総会に参加して

坂東・南中 野本 猛

五月二十六日、全日本中学校

宣言文決議に続いて、「不揃いの木を組む」との演題で鶴(いかるが)工舎舎主であり、宮大工棟梁の小川三夫氏が講演された。木の成長からその特性を見極め、木の命を建物の命へと適切に変えていかなければ法隆寺のような千三百年も長持ちする建物はできない。子を育てるには必要なときに必要なことだけを教えることが大切である。など様々な自らの体験を通じた話を強く示していただいた。

十一日には、テーマ毎に九分科会で研究協議が行われた。本県からは第六分科会で、筑西市立明野中学校の渡邊浩校長から「小・中学校の連携を図った進路指導」のテーマで提案され、筑西市立下館北中学校の枝川健校長の司会のもと、有意義な協議が展開された。

助言者の講評後、分科会毎に開会行事が行われ、二日間の全日程が無事終了した。この大会に参加し、中学校教育の重要性と、校長職の責務の重さを再認識し、今後の更なる資質向上に向けた研修の必要性を痛感した。

○新教育課程移行期間 平成二十四年度の全面実施を控え、授業時数が増加し、ヒト・カネ・モノが不十分ではあるが、この機会を学校改革・教育改革の好機ととらえて欲しい。

○「全日中教育ビジョン～学校からの教育改革～」の実践

昨年福島大会で発表した全日中教育ビジョンの実践の年であり、まさに「ビジョン元年」である。

○「子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会」と文部科学省予算連絡会二十三団体が新政権・国会議員に教職員定数や待遇改善の働きかけを行い、少人数学級及び教職員定数改善の実現を決

長会総会が国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、オブザーバーとして参加する機会をいただきました。初めての経験であり、規模の大きさと会場の真剣な雰囲気に圧倒されました。

開会行事の後、総会では平成二十一年度会務報告と決算報告、役員改選、平成二十二年度活動方針と予算、大会宣言・決議等が審議されました。

特に、前会長の挨拶等を通して、全日中が現在取り組んでいたる課題や成果を知ることができましたので、以下主な点を述べます。

○新教育課程移行期間 平成二十四年度の全面実施を控え、授業時数が増加し、ヒト・カネ・モノが不十分ではあるが、この機会を学校改革・教育改革の好機ととらえて欲しい。

○「全日中教育ビジョン～学校からの教育改革～」の実践

昨年福島大会で発表した全日中教育ビジョンの実践の年であり、まさに「ビジョン元年」である。

○「子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会」と文部科学省予算連絡会二十三団体が新政権・国会議員に教職員定数や待遇改善の働きかけを行い、少人数学級及び教職員定数改善の実現を決

議した。その結果、二十二年度予算に四千二百名の教職員定数増が盛り込まれた。今年度も二十三

度の充実」の活動を進める。

○国・文部科学省・中央教育審議会等の動向とその対応

学級編制及び教職員定数については、「学級定数三十五人、特別支援学級五人程度、全教科の教員配置及び学級数×二の教員数、免許外指導の廃止と教頭の定数外」という意見を表明した。

最後に以下の決議を力強く行い閉会しました。

一人間尊重の精神に徹し、未だを切り拓く「生きる力」をはぐくむ教育に努める。

○「全日中教育ビジョン～学校からの教育改革～」の実践

昨年福島大会で発表した全日中教育ビジョンの実践の年であり、まさに「ビジョン元年」である。

○「義務教育費国庫負担制度」

「教科書無償給与制度」及び「人材確保法」を堅持し、教育水準の維持向上を期する。

五月二十六日、全日本中学校

校長としての九年間を振り返つてみると、教育改革に伴う変化が大きな時期で、常に情報的確にとらえ、判断し、実行していくということに厳しさ

この三月に無事定年退職をいたしました。義務教育の一時期を過ごした笠間市立北川根小学校を四十八年前に巣立ち、文部省唱歌の「故郷」の歌詞にあるように『志（こころざし）』をはたして・・・母校に戻り、後輩にあたる子ども達への教育に地域の方々の協力をいたぎながら学校経営に邁進できしたこと感無量です。これもひとえに諸先輩方や同僚、関係者の皆様をはじめとする多くの方々のお陰と深く感謝しています。

校長としての九年間を振り返つてみると、教育改革に伴う変化が大きな時期で、常に情



前・笠間市立北川根小学校長
鈴木 裕

今、退職して想うこと…

朝行っていたあいさつ運動がないことです、退職後の日々は自由気ままな生活ができ、これまたいいものです。日中は庭の草木の手入れや野菜作りをして、自然との生活に、そして四十数年続いている少林寺拳法の指導にと充実した日々です。感謝！



前・ひたな小学校長
須田 慎一

育てていただきて

三十八年間の教員生活を振り返ると、楽しかったこと、うれしかったことばかりが思い出されるが、同時に多くの皆さんに「育てていただきたな」と、未熟だったことを恥じながらしみじみと思う。

心から感謝している。



前・北茨城市立明徳小学校長
村田 俊美

滅びゆく科学

県北の中学校で野球部の顧問をしていた。夏休み中に「県選抜大会」があり、毎朝六時学校発で四日間県営球場へ出かけた。校長先生も早朝より毎日バスに同乗され、炎天下のスタン

ドで保護者等とともに応援してくださった。私は二日目以降、生徒たちの体力を考えて、六七名を水戸市内にあつた妻の実家に交替で泊めた。帰校途中に校

科学の技術なくしては、私たちの生活は成り立たない。

小学生のころだつた。田圃に危険な農薬の散布があつた。田

も日本製のある車種が走っている。安く手軽でそこそこの性能だから申し分ない。でも、その安直さが時間をかけて守ってきた発展途上国の民族の誇りを容赦なく消していく。

滅びゆくための科学が、売れ筋の製品を溢れさせ、人の欲望を満足させ、人間の幸福の手綱を見事に操っていく。

世界遺産の修復や維持管理

梅のかおり

—先輩校長から—



県北の中学校で野球部の顧問をしていた。夏休み中に「県選抜大会」があり、毎朝六時学校発で四日間県営球場へ出かけた。校長先生も早朝より毎日バスに同乗され、炎天下のスタン

ドで保護者等とともに応援してくださった。私は二日目以降、生徒たちの体力を考えて、六七名を水戸市内にあつた妻の実家に交替で泊めた。帰校途中に校

科学の技術なくしては、私たちの生活は成り立たない。

小学生のころだつた。田圃に危険な農薬の散布があつた。田

も日本製のある車種が走っている。安く手軽でそこそこの性能だから申し分ない。でも、その安直さが時間をかけて守ってきた発展途上国の民族の誇りを容赦なく消していく。

滅びゆくための科学が、売れ筋の製品を溢れさせ、人の欲望を満足させ、人間の幸福の手綱を見事に操っていく。

世界遺産の修復や維持管理

をもつた日々でした。その面から解放された三月三十日の夜、正門で母校に向かって「お世話になりました」と感謝の心で頭を垂れました。同伴した妻の「お疲れ様でした。」の労いの言葉にも熱いものを感じました。

職を退いて寂しいことは、毎朝行っていたあいさつ運動がないことです、退職後の日々は自由気ままな生活ができ、これまたいいものです。日中は庭の草木の手入れや野菜作りをして、自然との生活に、そして四十数年続いている少林寺拳法の指導にと充実した日々です。感謝！

二学期末に担任をしていた生徒が転出したので、校長印をいたぐために校長室へ出向いた。校長先生は私に「手引きを読みなさい」とだけ話す、どこが間違っているとは教えてくださいなかつた。

現在の農薬の技術は、動植物に被害がないようにと技術の粹を尽くした安全が売り物だ。発達した科学は、標的を直接に攻撃しなくとも、遺伝子レベルで幾重にも包囲網を敷いて滅ぼすことが容易だ。直球で攻撃すれば誇りを受けるから、じんわりと攻めていく。昔は有害でもドジヨウはいたが、今は安全なのにはば誇りを受けるから、じんわりと攻めていく。以前から市販のパンはなぜかびないのかと思っていた。良識があれば臭素酸カリウムを使わない。世界中どこを旅しても日本のある車種が走っている。安く手軽でそこそこの性能だから申し分ない。でも、その安直さが時間をかけて守ってきた発展途上国の民族の誇りを容赦なく消していく。

世界遺産の修復や維持管理

第二の人生の旅の始まり

前・現原小学校長 田口 加代子



には、莫大な資金が必要であり世界中からスポンサーを探していいくには、地球規模での環境維持の必要性を強く感じた旅であった。

趣味を生かした健康づくり



立市うらがみすみかずく前・安飾小学校長 矢口省三

「退職してからもできるだけ現職と変わらない気分と体力を保ちたい」と考え、趣味として数年前から始めたハイキングと野菜づくりに励んでいます。

ハイキングでは紹介されていいる県内の山々を半日から一日かけてゆつくりと歩き、自然の素晴らしさや名所を楽しんできました。昨年度からは、県外の山々にも少し足を伸ばすようになりました。特に秋に訪れた安達太良山、磐梯山の紅葉は素晴らしい、気持ちちは日本の百名山の登山を意識するようになります。早速この五月には日光男体山に登山しました。事前の準備やコンディションづくりに気を使いますが、頂上に到着して眺める周囲の絶景には、疲れも忘れてしまいそうです。もう一つは、野菜づくりに力

を入れています。現在スイカ・カボチャ、枝豆等十種類の野菜づくりに励んでいます。土づくりや水の管理、消毒など本を読みながら、知人の指導を受けたりまだ手探り状態ですが、収穫した旬の味を家族で楽しむのは、最高の喜びです。

退職して三ヶ月、時間に余裕が出来た分、自分の趣味を楽しめることに幸せを感じています。

育てていただいて感謝



立市らいばみばくつく前・谷井田小学校長 浅野進

退職辞令を頂き、その辞令を見つめて「これで私の教員生活もついに終わつた」という実感がふつふつと湧いてきた。同時に、新採当時から退職までの様々な事柄が甦ってきた。不思議なことに、自分は何を実践してきたか、何に取り組んできたかということよりも、その時々に出会った同僚・先輩・上司の顔と教えていただいた内容が走馬灯のごとく、思い出されてきました。そして、数多くの温かい励ましによりここまで自分は職務を全うすることができたのだと思ふ。感謝の気持ちが込み上げてきましたのである。

「ケイタイと決断と方向性」



立長常・岡豊前・中山芳秀

三月三十一日まではケイタイを意識することが日課となつていました。朝六時台から七時台は「子どもが急に熱を出してしまったので看護休暇をください」というのが多かったと思います。午後は「今出張が終わりました」という報告でした。中学校の校長時代はこれが夜の九時から十時過ぎまで油断でき

「校長は孤独に耐え、必要な時に正しい判断を」「人材を育てる助言や指導の在り方は『指導力を身に付け、研修重視の姿勢』等々、語りかけてくださったことがつい昨日のように頭の中を駆け巡る。そしてまた、自分は後輩のために、何を指導し、何を助言できただろうと自責の念に駆られるのである。

一つの人生の区切りに立つた今、私にできることは、現職校長先生方を陰から応援すること、学校を地域から支えることではないかとの自分なりの結論に至った。今後はこの思いを大切にしながら自分の人生を歩みたい。

小学校でも中学校でも校長が決断しなければならないという事案はかなりあると思います。一番多いのは行事を天候により延期するかどうかだと思います。どちらにしても批判は覚悟しなければなりません。その時

大事なことは校長が明確な方向性をもつてているということではないでしょうか。そうすれば職員も明確に答えることができると思います。どうぞ、現職の校長先生方にはこの方向性を大事にしていただきたいと思います。

退職したら・・・



立長筑西・澤古前・中江里江

「退職したら、やってみたい。」

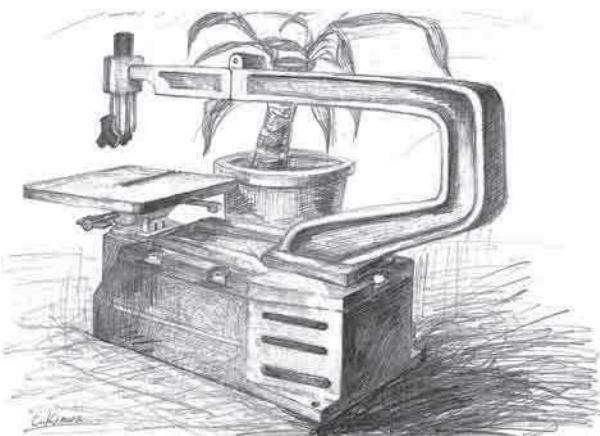
まず第一は、「満開の桜を心ゆくまで眺めていたい。」といふ思いであった。我が家には、大きな桜の木がある。毎年、見事な花を咲かせる。しかし、この時期は、学校が最も忙しい時である。遠くからちらっと眺めるだけで、気がついた時には、終わってしまっていた。

今年こそは、飽きるほど眺めに咲き誇る満開の桜の下に立つと、別世界に引き込まれてしまふような幻想的な思いに駆られる。

しかし、この夢は叶えられなかつた。天候不順と慣れないと二の仕事に手間取つていたためである。残念! 来年こそは、次の夢は。野菜作り、花の手入れ、メダカに鶏の世話、この日のために育ててきた果樹を使つての、梅酒・梅干し・干し柿・ドライフルーツ、そうだ、ビワやイチジクのジャムも、竹藪もきれいにしなくちゃ……。

とにかく、やることがいっぱいある。忙しくて忙しくて、最高に楽しい毎日である。

ひばり



「東中美術室にて」

稲敷・東中 木村 千春

口に入ることのない野菜

那珂郡・中丸小
小貫 芳孝

家の前に畠がある。サラリーマン退職後の方が何人かで野菜作りをしている。手入れが行き届いているので、毎年たくさんのが育っている。

しかし、人の口に入るのは、そのうちの半分にも満たないのではないだろうか。多くの野菜は食べられることもなく放置されたり処分されたりしている。趣味で作っているとはいっても、なんとももつたいない限りである。

無人の販売所でも設けてくれればとも思うが、それも難しいのかかもしれない。いずれにしても毎年たくさんの野菜が人の口に入ることなく処分されているのが残念で仕方がない。

他人のやっていることなので何も言うことができないが、何とかならないものかと勝手に思っているところである。

数キロ、もう信号はない。緩やかなカーブを繰り返しながら走っていく。前後に車ではなく、

対向車もわずかだ。目に飛び込んでくる清々しい風景が気持ちを軽やかにしてくれる。

春は新緑がまぶしい。左手には所々で川の流れが目に入る。小さな田畠といくつかの集落を通り過ぎ、やがて十字路に、大きなヤマザクラが目印である。そこを左折し更に登つていく。

ある日、濃い霧が立ちこめたことがあった。高く伸びた杉木立と深い緑を背景に人々が霞んで見えた。幻想的な雰囲気だった。アクセルをゆっくりと戻しながらその中を進んでいった。

おそらく紅葉の季節には、今とはまた違った景色を味わえるに違いない。本校に通う大きな楽しみの一つである。

朝、ホテルの前を歩いている時に地元の人にお会つた。親切であった。話の中から温かさを感じた。どんなところでも結局魅力を決める最大要因は、人な

んだと感じた。

私立の（地域の）学校

大洗小学校祝町分校として創設された本校の沿革を見たら、「明治二十三年 私立祝町尋常小学校開校」とあり、合併に伴う事情によるものなのか、町営に移管するまでの三年間、地域で支える私立の学校として本校が存在していたことに驚いた。

そのような歴史もあり、本校が地域の方に大事にされている学校であることを常に感じる。その一つが、毎月一回土曜日に

東茨城・祝町小
村田 博明

開催される「わくわく祝町っ子」事業であり、子どもたちは、社会福祉協議会祝町支部の方々が行つてくれる町の歴史探検やそば打ち体験、釣り教室や凧作りなどを通して、様々なことを学び地域の方との交流を深めている。また、運動会も地域の方が総演出（？）で盛り上げてくれるし、さつまいも栽培や野菜作り、稲作りなどの指導も快く引き受けくださる。地域と連携し育てられてきた本校が、二年後には統合のため閉校しなければならないことが大変残念である。

通勤の楽しみ

高萩・君田中
小林 正治

朝、自宅を出て二キロほど車を走らせると、六つ目の信号を通過する。ここから学校まで十

函館を訪れて

神栖・輕野小
方波見 守一

全国の魅力のある市町村第一位に選ばれた函館を訪れた。

まず、韓国・中国を始めとするアジアの国々からの観光客の多さに驚いた。

函館空港は、市街から近い。六月上旬であったが、新緑が美しく、カッコーの鳴き声も聞くことができた。歴史や建築物と

毎年五月の同窓会

田植えのシーズンになると楽しみの同窓会が近づきます。四十代半ばから続いている同窓会、子育てのピークを過ぎ、子どもたちの自立と共に始まりました。建築、設計、機械、鉄鋼、保険、原子力、不動産等々、様々な職業でトップや中堅リーダーとなっている同級生、その年の経済情勢やその中の仕事の現状など、楽しい話、厳しい話を聞くことができます。

取手・取手小
矢作 進

それにまつわる町並み。市電も走っている。市街に温泉街があるのも魅力の一つである。特に、百万ドルと言われる夜景は素晴らしい。当日午前中は霧で函館山は見えなかつたが夜景を見る頃は、風もなく、穏やかで、空気が澄んでいた。星空の見える海岸沿いに浮かぶ最高の夜景を見ることができた。イカ・ラーメンを始めとする食べ物が旨い。お土産品も多種多様である。

それにまつわる町並み。市電も走っている。市街に温泉街があるのも魅力の一つである。特に、百万ドルと言われる夜景は素晴らしい。当日午前中は霧で函館山は見えなかつたが夜

中でも、同窓会ゴルフがいちばんの楽しみです。会社等での年数回のゴルフをこなしてきました同級生のうまいこと、うまいこと、パーソンの連続で感嘆すると共に最初の頃は悔やしさも味わいました。いつかは俺もと練習し、レッスンも受けました。スコアもよくなり、一歩一歩向上することの喜びや楽しさを実感しました。

教育もこれだなと思いました。子どもたちに、「できた」という達成感を一杯感じさせ、「自信」を持たせ、「意欲」を高めていくこと、それが子どもたちの新しい能力や可能性を引き出す原動力になるのだと。

中でも、同窓会ゴルフがいちばんの楽しみです。会社等での年数回のゴルフをこなしてきました同級生のうまいこと、うまいこと、パーソンの連続で感嘆すると共に最初の頃は悔やしさも味わいました。いつかは俺もと練習し、レッスンも受けました。スコアもよくなり、一歩一歩向上することの喜びや楽しさを実感しました。

今回は、同期の十六名中十名の出席となつた。最近は三年に一度の開催となつてある。お互いに年齢を重ね、それぞれの仕事に就き、住居も県内外とさまざまである。しかし、これからは自分の時間を大切にしようとすることでは共有できるものが少なく、高学年になって、総合的な学習のテーマとして「地域の発見」を取り上げ、初めてこの事実を知る児童がほとんどである。

「玉岡の里」にそびえる結城小学校は、校舎も木造から鉄筋に変わり、建つ位置もかつての場所から南に少し移動し大きく変わった。しかし、現在も古の歴史を大きく包みこみ、元気に学習に励む子どもたちを温かく見つめている。

「玉岡の里」にそびえる本校は、南側を白壁の堀に囲まれた創立仲間と集まる機会があつた。私たちのサークル「ワンドーフォーゲル部」は何とか今も存続しているという情報を得ていたので、大学に集合し部室で後輩と会うことになった。現在は部員数は減り活動内容もかなり違っていたが、幸運なことに私たちの大学時代の合宿のアルバイトがかなり残存していたのである。偶然なのであろうが、他学年のものはほとんどない状態である。

現在は史詩だけが残っている

自分の時間

守谷・郷州小

亀山 佳久

玉岡の里

結城・結城小

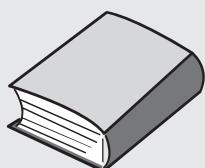
塙森 茂郎

読んでみませんか

龍馬がゆく

司馬遼太郎
埼玉福祉社会
作 者
発行所

北相馬・文間小 石井 英世



幸せのぐるぐる回り

常総・菅原小
中田 美恵子

若い頃、友人と気まぐれな旅をしていた。夜行特急列車「北斗七星」の始発駅から終点まで乗りたい。で、青森一泊旅行。

私「えつ！ いただいてもお礼ができません・・・」
男「ミカンをどうぞ。」

今でも忘れられないのは西日本一周旅行での出来事。鳥取、萩、津和野を経て間もなく山口県に入ろうとするその電車の中で、

私「喉が渇いたね。次の駅で降りて、喫茶店に入ろうか。」

友「お金が残り少ないし、もつたいないから我慢しようね。」
私「そうだね。」

名前も知らない山男の行動とそのことばに深く感動し心から感謝した。それ以来、私たちは「幸せのぐるぐる回り」を座右の銘にして生きてきている。

五時に起床。六時までの一時間（休日は、七時までの二時間）の読書。日曜日は、近くの市立図書館へ。夜は、「龍馬伝」を視聴。これが最近の私の日課である。

今、読んでいるのは、司馬遼太郎の「龍馬がゆく」（大活字本シリーズ）。市立図書館で見つけた。（文庫本では、全八巻だが、大活字本では、全十六巻）しかも、予約ができるところまで知った。新しい発見であった。

三巻を借りると同時に四巻を予約。次の週に三巻を返し、四巻を借り、五巻を予約。順調に読み進めることができている。

この作品を読もうと思った

ボックスシートにいる私たち二人の前のリュックを背負った頑強な山男が次の駅で降り、すぐに戻ってきた。手には「ネットに入った冷凍ミカン」

私「えつ！ いただいてもお礼ができません・・・」
男「いいんです。困っている人を見かけたら、手をさしのべてください。それでいいんで

す。」

名前も知らない山男の行動とそのことばに深く感動し心から感謝した。それ以来、私たちは「幸せのぐるぐる回り」を座右の銘にして生きてきている。

市玉美小 確かな学力とたくましい体をもち、郷土を愛する心豊かな人づくり

三十三校の校長で組織・運営され、夢と希望をもち、たくましく生きる児童生徒の育成を目指して、研究と実践に取り組んでいる。

小美玉市学校長会は、小学校十二校、中学校四校、計十六校で組織運営されている。

「魅力あふれる学校づくり」を連携を図りながら推進している。

- 二名の発表をもとにした研究協議会の実施
- 講師を招聘しての講演会
- 年間十回の定二組織活動の充実

三 ○ 学校予算充実のための要望

行方市 創意と活力に満ちた学 校経営の研究と実践

支部だより

牛久市

市久牛 創意と活力に満ちた学校経営の推進と教職員の資質向上を目指した学校経営

市 創意と活力に満ちた学校経営
久 営の推進と教職員の資質開発
向 上を目指した学校経営

一 創意と活力に満ちた学校経営の推進

二 創意を生かした特色ある教育課程の編成と個性を伸ばす教育の推進

三 豊かな心と将来への夢をはぐくむ教育活動の推進

四 生き生きとした児童生徒を育てる教育活動の推進

五 社会の変化に柔軟に対応した現職教育の推進

市らいばみづくつ

修（提案された学校運営上の課題について協議する）

二 学校運営研修会・講師として、
・研究発表会・市教育研究会
夏季研究協議会への支援

三 各校での学力向上・業務の
軽量化の推進と小中学校の連携・協力

牛久市の学校教育の三つの柱である「安全・安心・連携」「学力向上」「こころの教育」の実現を図るとともに、本市学校長会の研究主題に迫るため、各校がそれぞれ特色を生かしながら、創意と活力のある学校経営を推進している。

- 学校管理運営研修会の開催
- 市教育委員会との合同研修
- 視察の実施

○各種大会への積極的参加

二 関係諸団体との連携の強化

○行又後回二の世書

主幹 大木 勝百
事佐々木有香
幹吉田 俊昌
事石島久美子

おわひと訂正

教育センター主幹 海老澤誠
主事 尾花美都里
二二六号の「梅のかおり」で、
「下妻市立下妻小学校 富田勉」と記載しましたが、正しくは「下妻市立下妻中学校 富岡勉」先生です。誠に申し訳ございませんでした。お詫びして、訂正させていただきます。

名前、各委員会が新たに組織され、及び計画のもとに活動を開始されました。確かな教育の成果を求めて、連携をさらに深めていきましょう。

編集後記

名前、各委員会が新たに組織され、及び計画のもとに活動を開始されました。確かな教育の成果を求めて、連携をさらに深めていきましょう。

お知らせ